東京都
女性活躍
推進大賞

事例集
～受賞者の取組～

令和6年度
東京都女性活躍推進大賞

目 次

※受賞者名、事業概要、取組等は、受賞時点の情報を掲載しています。

大賞

【事業者部門】

医療法人社団向日葵会まつしま病院 …… 7

東京ガス株式会社 …… 8

【地域部門】

特定非営利活動法人せたがや子育てネット …… 9

優秀賞

【事業者部門】

あすか製薬株式会社 …… 10

伊藤忠商事株式会社 …… 11

株式会社朝日新聞社 …… 12

【地域部門】

特定非営利活動法人manma …… 13

特別賞

【事業者部門】

巴山建設株式会社 …… 14

【地域部門】

認定特定非営利活動法人サービスグラント …… 15

大賞

令和6年度 東京都女性活躍推進大賞

［事業者部門］

医療法人社団向日葵会 まつしま病院

子ども・若者の性や心身の健康を支える“街の保健室”と“思春期外来”を開設

●設立／平成５年12月　●所在地／江戸川区
●代表者／院長　星野 裕子　●正社員数／ 55人（女性55人、男性０人）
●事業概要／産科・婦人科・小児科・心療内科を標榜する一次医療機関

背景経緯

・妊娠・出産・育児の支援に30年以上取り組む中で、人工妊娠中絶のケアやDV・性暴力への対応、児童虐待予防など、若年女性が抱える課題に早期に介入する必要性を強く感じ、令和６年４月に子どもと若者のための街の保健室「ユースウエルネス KuKuNa」と病院内に「思春期外来」を開設。

取組内容

◆子ども・若者のための街の保健室「ユースウエルネスKuKuNa」

・月に３～５回程度、子どもや若者が自由に訪れて性や健康・権利について自ら学び、自由に過ごせる場（オープンユース）を無償提供（支援者の見学も可能）
・書籍やリーフレット、月経カップや避妊具を手に取って見られるよう設置し、性に関する知識を提供
・希望に応じて思春期保健相談士による個別のワンコイン相談（30分500円・保険証掲示不要）を実施し、子どもだけでも気軽に相談できる場を提供

◆性教育に関する教育活動

・勉強会や性教育講演を実施し、地域社会全体で子どもの健康と権利を守る風土を醸成

◆「思春期外来」の開設

・日常生活や学校生活で困難を抱えるケースに対応するため、病院内に「思春期外来」を開設し、医療介入を含めた専門的なサポートを実施

効果・実績

◆子ども・若者への切れ目ない支援

オープンユース参加者：延べ362名
ワンコイン相談：20件
思春期外来受診数：38件

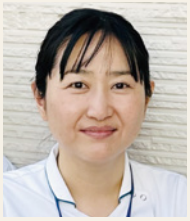
◆性教育に関する教育活動

勉強会：８回実施、参加人数延べ91名
性教育講演：11回実施、参加人数延べ723名（令和６年12月時点）

「オープンユース」で自由に過ごす参加者たち

性教育についての勉強会の様子

受賞者コメント



ユースウエルネスKuKuNa室長
幸﨑 若菜さん

◎当院は女性と子どもに寄り添う医療を提供する中で利用者との対話を大切にしてきました。彼女たちの語りから、女性と子どもの権利が軽視されていると感じる社会の実態が見えてきます。女性と子どもの健康と権利を保証するために、これまでの経験やスキルを活用し、ユースウエルネスKuKuNaでの取組を開始しました。

◎東京都女性活躍推進大賞をいただけたこと、大変嬉しく、励みになり、当院の取組を広く知っていただくきっかけになったと感じています。ユースクリニックが地域に当たり前にある社会の実現を目指して、頑張っていきたいです。

大賞

令和6年度 東京都女性活躍推進大賞

［事業者部門］

東京ガス株式会社

TOKYO GAS

男性中心のガスエネルギー業界全体における女性活躍を底上げ

●設立／明治18年10月　●所在地／港区
●代表者／取締役　代表執行役社長　CEO　笹山 晋一
●正社員数／ 6,480人（女性1,238人、男性5,242人）
●事業概要／エネルギー・ソリューション、ネットワーク、海外、都市ビジネス

背景経緯

・ガス事業中心の企業文化を変革し、多様な視点で価値を発揮するためにDE＆Iを推進。
女性活躍をその端緒と位置付け、男性中心の企業文化からの変革を実践。

取組内容

◆「取得率」だけでなく「期間」にも着目した男性育業推進

・男性が多い社員構成の中、男性育業を推進するため、「取得率100%、取得期間1か月」を目標設定。達成に向けて「育業推進の3本柱」を導入
①経済支援　　1か月以上取得者への給付金
②キャリア支援　昇格規定改定
③職場支援　　フォローする同僚への評価

◆TVCM「家族の絆シリーズ」による社会への発信

・子育てに奮闘する共働き夫婦や育業パパをテーマとしたCMを広く継続的に発信

◆中小ガス事業者向け合同研修会等の実施

・女性が少ない業界特性を踏まえ、合同研修会等を無償で実施し、他社交流やロールモデルを提供
・同業種で働く仲間との交流や意見交換を通じて視野を広げ、各社の女性活躍を推進

効果・実績

◆男性育業取得率・平均取得期間の向上

取得率　令和2年：8％ → 令和6年（9月末）：100%
平均取得日数　約60日（令和5年度）

◆TVCM「家族の絆シリーズ」

男女が共に自分らしく成長できる社会の気運醸成に寄与

◆ガスエネルギー業界全体の女性活躍を推進

参加企業での女性新卒採用人数や女性管理職比率が向上

男性育業について語る交流カフェ

中小ガス事業者女性向け合同研修会

受賞者コメント

常務執行役員　DE&I推進担当
小西 雅子さん

◎ このたび、栄えある「東京都女性活躍推進大賞」を賜り、深く光栄に存じます。社内ではイントラネットでの周知にとどまらず、小池都知事より賞状を授与いただいている写真を掲示したポスターを制作し、社員一同でこの喜びを分かち合いました。また、社外の皆様より温かい祝意を数多くいただき、改めて受賞の重みと意義を実感しております。

◎ 東京ガスグループは、多様な人材がその力を遺憾なく発揮できる組織の実現を目指し、「DE＆I」を積極的に推進して参りました。その一環として、「全ての女性が意欲と能力に応じ、多様な生き方を選択できる社会」の実現に向け、真摯に取り組んでおります。今回の受賞は、グループ全体の変革と社員一人ひとりのたゆまぬ努力が結実した証と受け止めております。この栄誉を励みとし、多様性をさらなる力へと昇華すべく、一層の精進を重ねて参ります。

大賞

令和6年度 東京都女性活躍推進大賞

［地域部門］

特定非営利活動法人
せたがや子育てネット

地域団体・支援者のネットワークで、地域全体の子育ての困りごとを解決

●設立／平成16年11月　●所在地／世田谷区
●代表者／代表理事　松田 妙子
●事業概要／地域の子育てネットワーク形成

背景経緯

・子育ての困りごとを地域の力で解決するため地域で活動する多くの子育て支援者・団体のネットワーク形成に向けて20年に渡り活動。

取組内容

◆子育てネットワークの形成

・団体、個人、行政、企業等が連携して地域課題の解決に取り組むことを目的に、「せたがや区民版 子ども子育て会議」を年4回程度開催。子育てにまつわる多様な主体をつなぎ、団体同士の連携による多様な取組が実現

◆独自性のある新規事業を多数発案

・「赤ちゃんを連れて学校へ行こう！」
ママパパが赤ちゃんを連れて中学校を訪問し、生徒たちと交流する体験型授業を実施

・学生ボランティアの人材育成事業
乳幼児親子が集う「おでかけひろば」を中心に、学生ボランティアを随時受入れ、若者のキャリア形成を支援

効果・実績

◆団体、個人、行政、企業等様々な主体の連携を促進

「せたがや区民版 子ども子育て会議」には、各回約50団体、100名程度参加区から依頼を受け、ワークショップを開催して幅広い意見を「世田谷区 子ども・子育て応援都市宣言」に反映

◆「赤ちゃんを連れて学校へ行こう！」

参加した区内中学生1,100人
参加ボランティア親子総数168組

「せたがや区民版 子ども子育て会議」

赤ちゃんと交流する中学生たち

絵本の読み聞かせをする学生ボランティア

受賞者コメント

代表理事
松田 妙子さん

◎ 区民版こども子育て会議などに注目いただけたことは、普段黒子であることが多い私たち中間支援組織にとって大きな励みとなりました。

◎ 今回の受賞がきっかけで、幣団体に関心を持っていただいたり、人材募集に多様な働き方を求める女性の応募が増えたりするなどの反響がありました。

◎ 今後も、より働きやすい職場環境の整備はもちろん、地域の団体や行政と連携しながら、子育てしやすい地域づくりを通じて、女性活躍推進に貢献できたらと思います。

優秀賞

令和6年度 東京都女性活躍推進大賞

［事業者部門］

あすか製薬株式会社

製薬会社としての知見を活かし、女性活躍の礎となる健康を促進

●設立／大正９年６月　●所在地／港区
●代表者／代表取締役社長　山口 惣大
●正社員数／ 717人（女性217人、男性500人）
●事業概要／医薬品の製造、販売等

背景経緯

・女性のライフステージにおける健康を生涯にわたりサポートする企業として、企業内外の女性活躍推進を重要な課題と位置付け。「女性、キャリアやシニアなど多様な人材が活躍できる環境づくり」を目標に取組を実施。

取組内容

◆「不定愁訴」や「がん」の早期発見に向けた健康経営

・「不定愁訴」や「がん」の早期発見を目的とした検査を毎年項目を変えて、定期健康診断に組み入れ実施
・検査後の行動変容につながるよう食事施策や講演会等を実施
・万が一「がん」に罹患しても仕事と両立できるよう、会社が費用を負担し「がん保険」等に加入

◆「ワークサポート応援金」でサポート従業員を支援

・経営トップと従業員の意見交換会での対話により、「ワークサポート応援金」を創設。ライフイベントによる休職者をサポートした従業員に、その貢献度に応じて半年ごとに最大10万円を支給

◆社会へ発信する「女性のための健康ラボMint⁺」

・webサイトにおいて、女性のカラダとココロや疾患に関する正しい情報を発信
・高等学校向けに保健体育副教材を作成し、無償配布

経営トップと従業員の意見交換会

効果・実績

◆休職者がいる組織への支援

「ワークサポート応援金」支給実績対象者：15名、支給総額:84万円（令和6年4月～9月分）

◆教育現場での性教育の啓発

高等学校向け保健体育副教材配布実績
延べ2,143校、約80万部（令和２年度～令和６年度）

高等学校向け保健体育副教材

受賞者コメント

代表取締役社長
山口 惣大さん

◎ 創業以来、医薬品の製造・販売を通じて人々の健康と明日の医療に貢献することを使命としつつ、社員一人一人がその能力を最大限に発揮できる環境整備に力を注いで参りました。

◎ 受賞で御評価いただきました、健康施策、ワークサポート応援金制度、性教育副教材の無償配布について、社内気運の高まりはもとより、社外からも大きな関心を寄せていただき、改めて取組の重要性を認識する機会となりました。

◎ 私たちは、これまで培ってきた医学の知見を活かし、「女性の健康」という視点から社会全体の女性活躍推進に貢献できるよう、今後も取組を進めて参ります。

優秀賞

令和6年度 東京都女性活躍推進大賞

［事業者部門］

伊藤忠商事株式会社

進化する働き方改革と性別を問わない個別支援により、女性活躍を推進

●設立／昭和24年12月　●所在地／港区
●代表者／代表取締役会長CEO　岡藤 正広
●正社員数／ 4,098人（女性1,026人、男性3,072人）
●事業概要／卸売業（総合商社）

背景経緯

・他社に先駆け女性活躍推進に取り組む一方、女性の受入環境が整わない中で女性活躍推進を進めた結果、早期離職につながるケースも発生。現場の声を受け、「働き方改革」の絶え間ない進化と「個別支援」の充実に取り組む。

取組内容

◆「朝型フレックスタイム制度」による働き方改革

・20時以降の残業を禁止・朝8時以前の早朝勤務を推奨。9時から15時をコアタイムとし、15時以降の早帰りを促進
・朝8時前出勤者には深夜勤務と同様の割増賃金、軽食を無料配布

◆女性登用に向けた個別支援

・早期復職にかかる追加コスト（保育園代等）を補填するため、「育児両立手当」を支給
・海外駐在への挑戦を支援するため、駐在期間中の卵子凍結の一部費用補助等を実施

◆「職域学童保育」の実施と地域開放

・社員の声を受け、小学校1～4年生を対象に「職域学童保育」を実施
・近隣区立小学校児童にも提供

効果・実績

◆社内の働く意識や職場の習慣の変革

8時前勤務社員55%、15時以降早帰り利用社員15%、22時以降在館社員0%（令和5年度）

◆女性総合職・海外駐在員数の増加

女性総合職社員比率
平成18年度：3.7% → 令和5年度：11.9%
女性海外駐在員数
平成20年度：11名 → 令和5年度：55名

◆「職域学童保育」

春・夏休み期間の安全な居場所の確保や学習サポート、SDGsプログラムを延べ550名に提供

朝8時以前に出勤した社員には軽食を無料配布

「職域学童保育」で学ぶ小学生たち

受賞者コメント

代表取締役　副社長執行役員CAO
小林 文彦さん

◎ これまでの取組が評価され優秀賞を頂いたことを大変嬉しく思います。
◎ 当社は、総合商社の中で最も従業員の数が少ない商社です。そのため、社員一人一人の生産性向上を目指して働き方改革を推進して参りました。女性活躍推進もその一環であり、男女問わずキャリアを諦めずに活躍できる環境づくりを進めています。
◎ 今後も、女性活躍推進を含めた働き方改革を継続し、「日本一良い会社」を目指していきます。また、社会課題の解決のため、当社の朝型勤務や女性活躍推進の各事例をホームページや講演を通じて社会に発信して参りますので、皆様の御参考になれば幸いです。

優秀賞

令和6年度 東京都女性活躍推進大賞

［事業者部門］

株式会社朝日新聞社

「ジェンダー平等宣言＋」を策定し、女性リーダー育成の取組を加速

●設立／明治12年1月　●所在地／中央区（東京本社）
●代表者／代表取締役社長　角田 克
●正社員数／ 3,248人（女性738人、男性2,510人）
●事業概要／新聞・デジタルメディアによるコンテンツ事業、展覧会などのイベント事業、不動産事業

背景経緯

・日本のジェンダー格差指数が111位に低下したことに危機感を覚え、平成29年から国際女性デーを中心にジェンダーを考える報道キャンペーンを開始。
・責任あるメディアとして、自らの発信や足元の組織においても多様性を確保すべきとの記者たちの提案を受ける形で、令和2年に「ジェンダー平等宣言」を策定、公表。

取組内容

◆自らの発信と組織における多様性の確保

・多様性確保を目指した「ジェンダー平等宣言」に続き、「ジェンダー平等宣言＋」を策定し、女性のいない会議をつくらない、部門別女性登用数値目標の公開、若手社員育成のためのジョブシャドーイング研修等を実施し、宣言内容の達成度を公表

◆報道キャンペーン「Think Gender」の展開

・毎年3月8日の国際女性デーの紙面で、ジェンダーを考える記事と、女性の活躍を応援する広告を同時に多面展開するキャンペーンを実施
・令和6年国際女性デーでは、創刊以来初めて新聞題字を「ミモザの花」に特別デザイン。ジェンダーを学ぶ教材として特別編集版を製作し、大学講義等での活用や教育現場に教材として提供

ジョブシャドーイング研修に臨む社員

効果・実績

◆報道の多様性の確保

「ひと」欄に登場する人物の女性比率
令和元年※：28.4% → 令和5年度※：45.2%
※集計期間が異なる
朝日地球会議登壇者の女性比率
令和元年：35.8% → 令和6年：45.0%

◆意思決定層の女性の増加

女性管理職比率
令和2年：12.0% → 令和6年：16.5%
女性ゼロ会議の割合
令和5年：26.3% → 令和6年：18.9%

スマホでも学べるジェンダーの教材

受賞者コメント

代表取締役社長
角田 克さん

◎ 2020年にジェンダー平等宣言、2022年にジェンダー平等宣言＋を公表して以降、責任あるメディアとして足元からの多様性の確保に取り組んできましたが、東京都から評価していただいたことを大変心強く思います。今回の受賞は、女性の管理職登用など、これまで思うようには進まなかった社内の取組を後押ししてくれています。

◎ 今年4月の人事で本部長や局長など部門のトップに複数の女性が就任しました。ジョブシャドーイング研修生を中心に、社外の方とともに多様性を考える勉強会もスタートします。社内の風景は変わりつつあります。

優秀賞

令和6年度 東京都女性活躍推進大賞

［地域部門］

特定非営利活動法人 manma

子育て家庭への「家族留学」体験を通じて、若い世代のライフデザインを支援

●設立／令和３年８月　●所在地／豊島区
●代表者／代表理事　越智 未空
●事業概要／家族留学事業等の運営

背景経緯

・当時大学１年生だった創業者が、学校や企業選びは多様な選択肢を体験できる機会がある一方で、結婚や子育てについては多様な選択肢に触れる機会が非常に少ないことに課題意識を感じ、団体を立上げ。

取組内容

◆「家族留学」事業の運営

・ ライフステージごとの悩みをもつ若者が、子育て家庭の1日に同行し、子どもとの触れ合い体験や多様なロールモデルとの出会いを通して「結婚・子育て」と「働く」の両面から自身の将来設計と向き合う体験型プログラムを提供

◆「ライフデザインセミナー」の企画・運営

・ これから結婚・子育てを迎える若者を対象とし、結婚・子育てなどを含む自らの将来像を具体的に描けるようになるよう、職業・結婚・子育てに関連する知識の提供や、参加者自身が将来のライフキャリアを考えるワークを実施

効果・実績

◆結婚や子育てに関する意識変容

これまで参加者911名と約600の受入れ家庭（うち都内234家庭）をマッチング※。
「家族留学」参加者の約９割が「共働き・仕事との両立をすることへの不安が解消された」「職場の子育て中の社員や街で見かける子連れ家族に対しての思いやりや配慮が強まった」と回答
（令和６年12月時点）

◆男性の家事育児促進

「家族留学」事業には、カップルや男性単独での参加者も多く、男性の家事・育児促進に寄与

子育て家庭の自宅での交流

ライフキャリアについて質問する様子

１日の交流で仲良くなってお別れする様子

受賞者コメント

代表理事
越智 未空さん

◎ 10年前、都内の学生たちで立ち上げた「家族留学」が、10年の歩みを経てこのような形で評価いただけたことは、私たちにとって大きな喜びです。受賞後には、これまで活動を支えてくださった皆様から温かい言葉を多くいただき、大きな励みとなりました。

◎ 「若い世代が、将来の家族や生き方について考える機会を社会に広げたい」という思いを胸に、今後は家族形成に関する体験型ライフデザイン支援の社会実装に向けて、全国の自治体・大学・企業と連携しながら、取組を更に加速させていきたいと思います。

特別賞

令和6年度 東京都女性活躍推進大賞

［事業者部門］

巴山建設株式会社

女性の働きやすい労働環境を整備し、建設業の担い手不足に対応

●設立／昭和53年4月　●所在地／調布市
●代表者／代表取締役社長　巴山 一済
●正社員数／ 58人（女性5人、男性53人）
●事業概要／建設業

背景経緯

・人手不足や高齢化が課題となる建設業界において、若手や女性の人材の活躍を重要視。
・「工事現場に関わる仕事には女性の活躍も必ず必要となる！」との社長の構想により、女性の働きやすい環境を整備。

取組内容

◆女性社員の採用強化と労働環境整備
・社長のトップダウンにより、女性の採用を本格化
・男性の多い建設現場において、女性社員の声を経営者に届けスピーディに実現する取組「ともやま小町」を実施

◆女性の視点を生かした「建設現場視察プロジェクト」
・誰もが気持ちよく働ける・地域に安心感を与える現場づくりを目標に、現場に従事する女性従業員が現場の雰囲気や衛生面、安全面などをチェック
・令和6年10月より内勤女性による視察も開始し、現場職員とは異なる一般的な視点からの指摘を加える形に進化

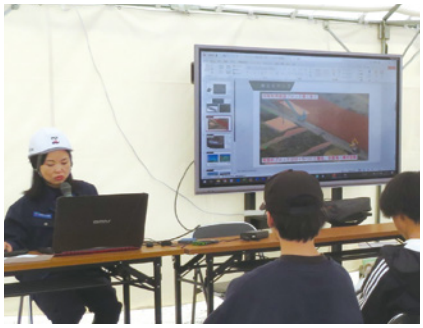
◆「現場体験」等の実施
・高校生・専門学校生に向けた「現場体験」・「建設業に関する授業」や、中学生の「職場体験」の受入れを実施

効果・実績

◆工事現場環境の向上
・髪の毛を結んだまま被れる軽い女性専用のヘルメット導入、冬季での電気毛布の支給等
・工事現場の男性トイレと女性トイレが隣接していることを指摘し、離れた場所へ設置

◆若年層に向けた普及啓発
・女性CADオペレーターによるICT講習や、女性施工管理職から仕事内容を説明
・40名の中高生・専門学校生に多摩地域の建設業界における女性活躍をPR（令和5年度）

建設現場にある女性専用休憩室


女性CADオペレーターによるICT講習

受賞者コメント

代表取締役社長
巴山 一済さん

◎ このたび「東京都女性活躍推進大賞」特別賞を賜り、大変光栄に存じます。
建設現場において、女性が働きやすい労働環境の整備を推進する当社の取組を高く評価していただき、心より感謝申し上げます。
受賞後には、多方面から当社の取組に共感する声が多く届いており、メディア取材や現場視察のご依頼などをいただき、関心の高さを実感しています。

◎ 今後は育児期の柔軟な勤務制度などをより充足させ、誰もが安心して働ける環境づくりに努めて参ります。この受賞を励みに、女性が働きやすい現場環境のより一層の充実を図るとともに、当社の取組を多摩地域で普及啓発し、建設業の発展に向け邁進して参ります。

特別賞

令和6年度 東京都女性活躍推進大賞

［地域部門］

認定特定非営利活動法人 サービスグラント

SERVICE GRANT

仕事復帰を目指す女性と地域団体等をつなぐことで循環型支援を実現

ママボノ
mamabono

●設立／平成21年5月　●所在地／渋谷区
●代表者／代表理事　嵯峨 生馬
●事業概要／プロボノ※によるプロジェクト支援型のコーディネート等
※仕事で培った経験・スキルを活かした社会貢献活動

背景経緯

・日本では、結婚や出産・子育てのために離職をする人は30.5%おり、また、復職をするとしても、約8割の女性が復職に不安を感じている。
・育業中や子育てを理由に離職中の女性同士でチームを編成することで、子どもがいながらでも参加しやすいプロボノプロジェクト「ママボノ」を平成25年度から開始。

取組内容

◆子育て女性のプロボノ「ママボノ」の運営

・育業からの復帰や再就職など、再び仕事への一歩を踏み出したい女性のための社会貢献プロボノプロジェクト
・仕事のスキルや子育ての経験を活かし、ママならではの視点を求めている非営利組織の活動を支援

◆イベント開催による普及啓発

・女性支援団体や企業と連携し、「育業中や離職中だからこそキャリアを考える機会に」といったテーマで、参加者募集を兼ねたイベントを開催
・ママボノ経験者等が登壇し、子育てしながらキャリア形成等を考える機会を提供

効果・実績

◆参加者・支援団体ともに高い評価

参加者755名（うち都内在住者380名）の約8割が「復職時の不安を解消できた」「復職後、キャリア面でポジティブな変化があった」と回答
これまで支援を受けた117団体（うち都内69団体）全てが「支援を受けて良かった」と評価

◆海外への活動の広がり

海外のプロボノネットワークでも注目を集め、スペインやジョージア等で活動が波及

子どもを連れてチームミーティングへ

たくさんの仲間たちとのつながりの場にも

支援先団体との打ち合わせの様子

受賞者コメント

事務局運営委員
津田 詩織さん

◎ このたびの受賞には、ママボノに参加された方や支援した団体の方をはじめ、多数の方からお祝いの言葉と活動への応援のメッセージをいただきました。本受賞を通じて、私たち自身もママボノの社会的価値を見つめ直す良い機会となりました。

◎ 今後は、育業中の方はもちろん、専業主婦や駐在帯同中の方々など、必要としている人により届けられるよう邁進していきたいと思います。また、ビジネスセクターや地域への展開を視野に入れながら、様々な立場の女性の一歩を応援して参ります。

歴代受賞者

令和5年度～平成26年度

※受賞者名、事業概要、取組等は、受賞時点の情報を掲載しています。

歴代受賞者コメント ※令和5年5月

◆令和3年度　医療・福祉分野〈大賞〉　社会福祉法人 風の森

大賞を受賞し、受賞についてのプレスリリースを配信したところ、大手経営者向けメディアの取材が決まりました。そのメディアがYahoo!トップに掲載され、瞬く間に知名度が上がり、多数のテレビ取材に繋がりました。

様々なメディアで発言を重ねるうちに、業界に対するミッションがより明確になり、今後は更なる子育て支援に力を入れるべく、病児保育や児童発達支援、一時保育等の事業を新規に立ち上げ、より業界に貢献していきたいと考えています。

◆令和元年度　教育分野〈大賞〉　学校法人 昭和女子大学

女性活躍推進大賞を受賞した後、本学の活動について広く周知されたことで、多くの企業のダイバーシティ推進担当の方々からお問い合わせがあり、「キャリアカレッジ」の会員企業数も増加。また、セミナーへの参加者や会員企業からの研修依頼も増え、関心の高さを実感しました。

大学では、今年、社会人向けの専門職大学院を開設しました。「キャリアカレッジ」では、受賞翌年から社会のニーズに応じて女性上級管理職向けの研修を開始し、今では役員向けの研修も行っています。

これからも、教職員や学生のみならず、本学で学ぶ働く女性の活躍支援及び地域や社会に貢献できる人材の育成に邁進して参ります。

◆平成30年度　産業分野〈優秀賞〉　港シビル 株式会社

施工管理事務として採用した未経験者（女性）を技術者として育成し、2名が現場監督、3名は担当技術者として現場に従事しています。また、女性2人で施工管理を行った現場では優良表彰を頂くなど、女性が現場で活躍しています。

現在、3年目の女性社員2名は2級土木施工管理技士に合格し、監理技術者になるために、現場経験を積みつつ、1級土木施工管理技士補の合格を目指しています。就業時間内での教育など、引き続きキャリアアップの支援を行って参ります。

◆平成29年度　地域分野〈大賞〉　認定NPO法人 プラチナ美容塾

女性活躍推進大賞をいただいたことで、美容を通じてアクティブに輝くプラチナ世代を支援する自分たちの活動に自信を持つことができ、対外的にアピールすることができました。結果として行政や社会福祉協議会、企業からの信頼を得ることができ、活動資源の獲得にも大きく貢献しました。また、地域活動の幅も拡大し、女性のシニア層だけでなく、男性を含め、子供や学生等、多世代の方々を活動に巻き込めました。

当法人の組織運営体制の改革、デジタル化など活動の見える化に力を入れ、スムーズな組織運営を目指してきました。コロナ禍で、一時活動を縮小せざるを得ない状況もあったものの、オンライン活動をいち早く取り入れ、オンラインボランティアやオンライン美容講座など新しい取組にチャレンジし、活動継続を図りました。

今後は、シニアを主軸に、生きづらさを抱えている方（社会的弱者）へ美容の力でサポートできる事を展開し、活動の担い手も多世代を巻き込みつつ、来年度のNPO設立10周年を機にさらに活動の活性化を目指していきます。

取組内容の詳細はこちらをご覧ください

大賞

事業者部門

佐藤興業 株式会社
建設業（塗装業）
「性別で門戸を閉ざさない」という方針の下、女性職人比率が0%から23.6%に増加するなど塗装業界での女性活躍を実現

女性職人の活躍

株式会社 サニーサイドアップグループ
PRコミュニケーション、マーケティング
「失恋休暇」など独自の福利厚生制度や女性活躍推進プロジェクトにより、自分らしい働き方・生き方を発信

「32の制度」で充実した働き方・生き方をサポート

地域部門

まえさわ小町商店会
商店街のPR事業
女性三人組ユニット「こまちーズ」を中心にＰＲ事業を企画し、商店会のイメージアップや活性化を実現

「こまちーズ」がデザインをしたエコバッグ

一般社団法人 ドゥーラ協会
産後ドゥーラの養成と活用促進
女性に寄り添い、産後家庭の家事・育児をサポートする「産後ドゥーラ」を10年に渡り養成し、多くの女性が活躍

産後ドゥーラ養成講座の様子

優秀賞

事業者部門

PwCコンサルティング 合同会社
総合コンサルサービス
戦略的な目標設定と社員主導の女性ネットワーキング「WOMAN'S EMPOWERMENT」により、女性活躍を推進

女性ネットワーキング開催イベントの様子

パーソルキャリア 株式会社
人材サービス
育業中に一時的な就労機会を提供する「育休ウェルカムバック制度」や女性のヘルスリテラシー向上に向けた取組を展開

女性のはたらき方とヘルスリテラシーに関する調査

地域部門

特定非営利活動法人 子育てママ応援塾 ほっこりーの
子育てサロン運営等
「脱“孤”育て」をモットーに、子育て中のママたちの居場所づくりを推進

子育てサロンでくつろぐ親子連れ

特別賞

事業者部門

日本物産 株式会社
セールスプロモーショングッズの企画・製造・販売等
「人事制度」と「社員の意識」の両面の改革により、女性が活躍できる職場づくりを推進

グループ企業交流会の様子

地域部門

特定非営利活動法人 フローレンス
多胎児家庭のみを対象とした、日本唯一のベビーシッターサービス
外出困難など、多胎児家庭のニーズに特化した訪問サポートサービス「フローレンスのふたご助っ人くじ」を運営

「多胎児家庭支援者向け研修」修了済のスタッフが訪問

取組内容の詳細はこちらをご覧ください

大賞

産業分野

株式会社 吉村
日本茶を主とする
食品包装資材の企画・製造・販売
女性や若手社員の積極的な経営会議への登用、女性が多い組織の独立・主体的な活動により、「補佐は女性」という風土から脱却

経営会議リーダーを担う女性社員

株式会社 ポーラ
化粧品製造・販売
社員のジェンダー意識改革や次世代へのキャリア教育支援に取り組むなど、女性エンパワーメントを社内外に強力に推進

冊子『10代のためのジェンダーの授業』

地域部門

マム・スマイル
ママコミュニティ
無料子育て地域情報誌「イタバシーナ」の制作を板橋区在住のママたちで行うなど、ママの社会復帰と地域活性化を推進

地域情報誌「イタバシーナ」

ママドクターの会
子育て中の女性医師による有志団体
講演会やメーリングリストを通じて女性医師のネットワークをつくり、育児と仕事の両立を支援

講演会の様子

特定非営利活動法人
くにたち夢ファーム
DV被害や生活困窮など
困難な状況を抱える女性や子供の支援
困難な状況を抱える女性に対し、“実家（Jikka）”のようなコミュニティの役割を果たし、必要とされる支援を提供

地域に開き、誰もが来られる「Jikka」

優秀賞

産業分野

株式会社 ノヴィータ
情報通信業
在宅勤務を基本とした多様な勤務体系を整備し、定期的に雇用形態を見直すことで、個々の状況に応じた柔軟な働き方を実現

全社員参加の朝会の様子

株式会社 フジタ
総合建設業
女性総合職ネットワークを立ち上げ、キャリアアップの阻害要因の分析・改善に取り組み、組織的に女性活躍を推進

ロールモデルの紹介

教育分野

青山学院大学
女性のためのITリカレント教育プログラムを創設し、IT分野で活躍できる人材を育成

IT実践力強化のプログラミング授業

特別賞

医療・福祉分野

社会福祉法人
フレスコ会
台東区で特別養護老人ホーム運営
国基準の2倍の介護・看護スタッフの配置や短時間夜勤の導入など働き方改革を推進

ゆとりある職場づくりを推進

社会福祉法人
東京児童協会
認定保育園・認定こども園運営
栄養士による食育や看護師による健康教育等、専門性を活かしながら活躍できる職場づくりを推進

各園の看護師による健康教育の実施

地域部門

チームねりまde女子マルシェ
農業に従事する女性を中心とするマルシェ開催団体
「話して・知って・食べて・楽しんで・つながる」をコンセプトに、マルシェを通して女性農業者のつながりと活躍の場を創出

練馬区役所でのマルシェの様子

取組内容の詳細はこちらをご覧ください

大賞

産業分野

日本ロレアル株式会社
化粧品の輸入・製造・販売
男女平等を企業文化として確立し、社内の女性活躍に留まらず広く社会に働きかける活動を展開

シングルマザー就労支援プログラム「未来への扉」

株式会社佐藤製作所
金属加工業
男性中心のものづくり企業において女性社員の活躍の場を創出し、企業や業界のイメージを一新

地域の小学生に金属加工を教える若手女性職人

医療・福祉分野

社会福祉法人風の森
（杉並区で認可保育園6園運営）
ゆとりある保育環境を整備し、保育士の働き方改革・キャリア形成支援を推進

勤務時間内に行っている研修の様子

教育分野

国立大学法人東京医科歯科大学
地域と連携した独自の両立支援制度を構築し、教職員のキャリア継続を支援

リーダーシップ向上セミナー

優秀賞

産業分野

株式会社 オンザウェイ
無線機等のリース・レンタル、無線機アクセサリの企画開発
社員間のサポート体制を重視した職場づくりによって、家庭と仕事を両立しやすい環境を整備

電話による通信販売営業の様子

医療・福祉分野

社会福祉法人 大三島育徳会
世田谷区で高齢者福祉施設及び障害者支援施設運営
キャリアパス制度を活用し、モチベーションを持って働き続けられる職場を実現

外部講師を招いての接遇マナー研修

教育分野

日本医科大学
上位職登用に向けたポジティブアクションにより女性研究者のキャリア形成を推進

ダイバーシティ研究環境実現に向けてキックオフシンポジウム

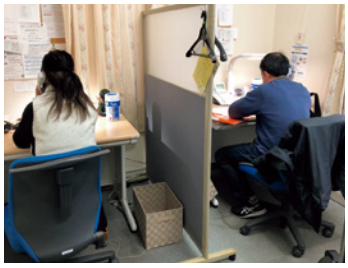
特別賞

地域部門

子育て支援SANの会018
練馬区で子育て支援を行う任意団体
地域の親子が気軽に訪れる公園を拠点としたコロナ禍の子育て支援

地域の親子の交流の場を開催

社会福祉法人いのちの電話
「東京いのちの電話」センターを運営
困難に直面する女性等に寄り添う相談事業により50年にわたり自殺予防に寄与


電話相談室の様子

取組内容の詳細はこちらをご覧ください

大賞

産業分野

株式会社 小宮商店
日本の織物を使った
職人による手作り洋傘の
製作・卸売り・販売
男性中心型の職人によるものづくり企業において、一から女性活躍推進に取り組み、技術継承や業績拡大に発展

女性による商品企画会議の様子

コカ・コーラ ボトラーズジャパン 株式会社
清涼飲料水の製造、
加工及び販売
従来の方法にとらわれず、男女ともに働きやすい環境づくりをトップ主導でスピーディーに展開

子どもが産まれた男性社員へ
「パパエプロン」をプレゼント

明治安田生命保険 相互会社
生命保険の引受、
資産運用
ライフ・ワーク・バランスの意識醸成、女性管理職登用に向けた取組を戦略的に展開

ダイバーシティ・フォーラムの様子

医療・福祉分野

社会福祉法人 多摩棕櫚亭協会
精神障害支援施設4施設運営
キャリア形成のための制度を整備し、モチベーションを持って働き続けられる職場を実現

キャリアパス制度に基づく
目標管理面接

教育分野

学校法人 日本女子大学
リカレント教育課程の設立・普及により、女性の再就職を支援

リカレント教育課程の
オンライン授業風景

東邦大学
全学的にダイバーシティを推進し、教職員の就業継続を支援

女性チームでの手術風景
（形成外科医・麻酔医・看護師）

地域部門

社会福祉法人 ダビデ会 昭島ナオミ保育園
認可保育園1園、地域子育て支援事業3施設運営
保育園のノウハウを活かした子育てコミュニティを創出し、地域活性化に貢献

地域の子育て世代がノウハウを学ぶ
「子育て支援プログラム」の様子

優秀賞

医療・福祉分野

社会福祉法人 まちだ育成会
障害者福祉施設6施設運営
現場目線による働きやすい環境づくりと多様なスキルアップ支援を推進

ワークライフ委員会の様子

地域部門

江戸東京野菜プロジェクト
瑞穂農芸高校の女子生徒を
中心とした任意団体
高校生が開発した「瑞穂七色唐辛子」による地域活性化

地元の野菜を活用した地域振興活動

特別賞

産業分野

株式会社 エグゼクティブ
法人専門の営業アウトソーシング
働く時間や場所を問わず働き続けられる仕組みの構築により、多様な働き方を実現

社員が自由に選べる働き方を整備

株式会社 横引シャッター
特殊シャッター等の製造販売
従業員の雇用を守る取組と「お互い様精神」の醸成による働きやすい職場づくりを推進

工場で塗装を行う女性社員

令和元年度 受賞者一覧

取組内容の詳細はこちらをご覧ください

大賞

産業分野

大塚製薬 株式会社
製造業
ダイバーシティ推進に継続的に取り組み、男女ともに働きやすい職場を実現

Otsuka Women's Workshopの様子

医療・福祉分野

社会福祉法人 松栄福祉会
認可保育園2園、カフェ運営
保育士のスキルアップ支援とカフェ運営による保育の枠を超えた地域貢献

女性の多様な働き方に対応するため
組織全体で体制を見直し

教育分野

学校法人 昭和女子大学
様々なライフステージにおける女性の活躍、ダイバーシティ推進に貢献

キャリアカレッジの様子

地域部門

成城学校避難所運営管理協議会並びに成城避難所女子会
成城学校が一次避難所に
指定されたことを契機に協議会が設立
地域の女性の意見を避難所運営に
反映するため女子会を設立
私立男子校の避難所運営に女性が参画することにより、地域の防災力強化と地域コミュニティ活性化に貢献

住民参加型避難所
シミュレーション演習

非営利型株式会社 Polaris
仕事と育児の両立における負担や、離職によるキャリアブランク等の育児期の女性の「働きにくさ」の社会課題の解決を目指し、事業を展開
地域の女性が多様な働き方を実現するための仕組みづくりにより、女性が活躍する場の創出と地域の活性化に寄与

働く時間や場所に制約のある
育児期の女性の
キャリアロスを防ぐ

優秀賞

産業分野

立花建設 株式会社
建設業
女性の少ない建設業界において女性が活躍できる環境を整え「建設小町」に育成

女性による現場パトロール

TRIPORT 株式会社
ITソリューション開発・販売、
経営・労務コンサルティング
「全社員テレワーク」の仕組みの構築により、プライベートまで配慮した働き方を実現

完全テレワーク導入

医療・福祉分野

社会福祉法人 にじの会
知的障害者・障害児支援事業
女性が働きやすい環境づくりを現場目線で推進

産休育休職員懇談会の様子

地域部門

一般社団法人 ひきこもりUX会議
ひきこもり当事者の
交流の場づくり、
調査、情報発信等
女性のひきこもりの居場所を創出し、当事者の声を社会に発信

ブックレット
「シリーズ　私たちの生存戦略
〔ひきこもり女子会〕」

特別賞

医療・福祉分野

社会福祉法人 げんき
障害者・障害児支援事業
多様な職員を受け入れる体制の整備により、一人一人の事情に応じた働き方を実現

事業所内研修の様子

令和元年度 東京都女性活躍推進大賞 贈呈式

取組内容の詳細はこちらをご覧ください

大賞

産業分野

コネクシオ株式会社

携帯電話の卸売・販売及び携帯電話を利用したソリューションサービスの提供

男女がともに活躍できる職場を目指し、人財育成・働き方改善を推進

全社員のライフ・ワーク・バランス推進

医療・福祉分野

医療法人社団 東山会

調布東山病院など3医療機関を運営

適正な業務量の設定による医師の働き方改革を中心とした、トップマネジメントによる働きやすい環境作りの推進

活躍する女性医師

教育分野

国立大学法人 お茶の水女子大学

研究者支援、社会人女性を対象とした生涯学習講座により、女性リーダーを育成

「お茶大女性ビジネスリーダー育成講座：徽音塾（きいんじゅく）」の様子

個人部門

岩田 敏江 氏

瑞穂町社会教育施設耕心館ボランティア代表

施設運営のボランティア活動を通じ、町の活性化に貢献

耕心館でのつるし飾り展

優秀賞

産業分野

港シビル株式会社

建設業

新職域「施工管理事務」を確立し、ドボジョを育成！

女性が監理技術者や現場代理人として活躍

医療・福祉分野

社会福祉法人 嬉泉

障害児や障害者の福祉事業及び保育事業の運営

職員の声に耳を傾け、育児と仕事を両立しやすい・働きやすい環境を実現

職場復帰セミナー

社会福祉法人 奉優会

特別養護老人ホーム、介護施設、高齢者福祉センター等を運営

きめ細かな両立支援と成果主義実践等による女性の活躍推進

奉優会で活躍する女性職員

教育分野

国立大学法人 東京農工大学

理系女性研究者への総合的支援や積極的登用を展開

産休ポスドク制度　研究支援員派遣制度

個人部門

関 直美 氏

（シテ方宝生流能楽師、音楽博士、茶道裏千家教授、伝統文化普及団体 伝統の橋がかり代表）

男性中心の伝統芸能の世界で、能楽師として活躍

関直美氏による能の様子

特別賞

産業分野

株式会社 井口一世

製造業

実力主義と、制度の整備により、女性の活躍を推進

代表取締役と女性社員の座談会

地域分野

一般社団法人 建築設備技術者協会

建築設備技術者の資質向上や技術の進歩改善のための調査研究及び普及等

女性技術者のネットワークを作り、仕事の魅力ややりがいを発信

設備女子会運営委員会事務局の皆さん

取組内容の詳細はこちらをご覧ください

大賞

産業分野

三井住友海上火災保険株式会社

損害保険業

全社員の総活躍を支援する取組を総合的に展開

育児休業中に在宅で定型業務が可能

医療・福祉分野

社会福祉法人 竹清会

特別養護老人ホーム等の介護事業

女性理事長を中心に女性職員が働きやすい環境づくりを推進

理事長を交えながら女性職員による多職種での打合せ

地域分野

特定非営利活動法人 プラチナ美容塾

高齢者施設等でメークやハンドケア等を行うボランティア活動

美容を通じて、アクティブに輝くプラチナ世代（いつまでも元気に、人生を楽しむシニア世代）を支援

品川いきがいフェスタでの活動の様子

個人部門

市川 順子 氏

作ろう！ みんなのジモトWa-shoi パートナーシップ 世話焼き人〔代表〕

多様な人をつなぎ、新たな地元ネットワークを生み出す地域コーディネーター

地域における横のつながりを構築

優秀賞

産業分野

アフラック

生命保険業

トップダウン及びボトムアップによる強力な体制の下、ダイバーシティを推進

タウンホールミーティングでの社長と社員の対話の様子

富士ゼロックス多摩 株式会社

富士ゼロックスの販売会社として多摩地域と山梨県で事業を展開

自社の課題に向き合い取組を着実に推進、女性活躍推進のための新たなスキームを創出

地元のネットワークを活かし、地元企業等との交流会を実施

教育分野

国立大学法人 東京大学

総長の強いリーダーシップで加速的取組を展開

女性教員（教授・准教授）増加のための加速プログラム

地域分野

特定非営利活動法人 男女共同参画おおた

大田区立男女平等推進センターの指定管理者として、男女共同参画の地域づくりに貢献

子育てしながら起業を目指す女性をサポート！女性視点のアイデアを形にした起業を応援

起業塾の様子

個人部門

山﨑 恵 氏

株式会社 Capybara〔カピバラ〕代表取締役

子供と一緒に過ごしながら仕事ができるビジネスモデルにより、母親たちに多様な働き方を創出

「ママ職サイト」を運営し、在宅でできる仕事を提供

特別賞

産業分野

由井電気工業 株式会社

電気工事業

「きつい・汚い・危険」建設業3Kからの脱却を目指し、女性社員が長く働きたくなる会社づくりを推進

女性を中心とした工事チームを編成

取組内容の詳細はこちらをご覧ください

大賞

産業分野

損害保険ジャパン日本興亜株式会社
損害保険業
女性管理職輩出に向けたパイプライン形成と、男性社員の意識改革にも注目した働き方改革

上司からお子さんが生まれた部下へ送るおめでとうカード

プロクター・アンド・ギャンブル・ジャパン株式会社〈P&G〉
洗濯・台所洗剤、化粧品、ヘアケア製品、紙おむつなどの研究開発、製造、販売等
社員の多様性を尊重した柔軟な働き方とダイバーシティ推進のノウハウを社外に還元

社外向けトレーニング風景

教育分野

学校法人杏林学園 杏林大学
女性教職員の「研究力向上」「裾野拡大」を目指した「ライフイベント」に配慮した両立支援

ハンドブックや女性研究者ロールモデル集「Annes（アンズ）」を制作

地域分野

特定非営利活動法人 放課後NPOアフタースクール
学校の施設を活用し、学童保育の預かり機能と体験教室の機能を両立する「アフタースクール」を運営
アフタースクール開校による保護者の社会復帰支援と市民を巻き込む多様なプログラムを展開

シェフの先生との料理プログラム

個人部門

海老原 宏美 氏
東大和市
地域自立支援協議会 会長
自らも難病と向き合いつつ、ダイバーシティの実現に向け、障害者のネットワークを形成

人工呼吸器と共にどこへでも

優秀賞

平成28年度 東京都女性活躍推進大賞 贈呈式　優秀賞受賞の皆さん

産業分野

小田急電鉄 株式会社
運輸業
鉄道現業において育児中の社員が活躍できるような制度の見直し・働き方の見直し

株式会社 セプテーニ
広告業
残業時間削減のための取組・社員にとって有用性の高い子育てサポート・女性向け能力開発プログラム

医療・福祉分野

社会福祉法人 あいのわ福祉会
職場環境の整備・女性職員の管理職及び役職者への積極的な登用

地域分野

特定非営利活動法人 Fine
不妊ピア・カウンセリング及びカウンセラーの養成
不妊治療と仕事の両立環境改善のための啓発

特定非営利活動法人 ブーゲンビリア
おしゃべり会や学習会の開催・乳がんになっても働き続ける女性を後押しするための環境整備

個人部門

越後屋 美和 氏
株式会社HORIGO東京
ワイナリー代表
東京で初のワイナリーを設立・都内産農産物の認知度を向上させる活動の実施

取組内容の詳細はこちらをご覧ください

大賞

産業分野

DACグループ
広告業
積極的な女性の幹部登用と男性も含めた働きやすい環境整備

北欧視察研修

医療・福祉分野

社会医療法人財団大和会
武蔵村山病院
働きやすい職場環境整備による女性医師や職員の継続就業サポート及び職員間の公平性確保

協力し合う職場風土

教育分野

学校法人
芝浦工業大学
学長及び理事長の強力なリーダーシップによる女性研究者の積極的な採用・登用・ネットワーク形成

男女共同参画推進ワークショップ

地域分野

特定非営利活動法人
豊島子どもWAKUWAKUネットワーク
地域の子供達のサポート
子供一人でも入れる「子ども食堂」を地域のネットワークで運営・居場所で出会うシングルマザー等への伴奏的支援

要町あさやけ子ども食堂の食事風景

個人部門

堤 香苗 氏
株式会社キャリア・マム　代表取締役
自らの発想力と行動力で、小さい子供を持つ主婦層などが活躍できる場を創出

「共同請負型在宅ワーク」をビジネスモデルとして確立

優秀賞

産業分野

東海東京フィナンシャル・ホールディングス株式会社
トップの発信に基づく、働きやすい職場環境の整備や女性のキャリアアップ支援などの幅広い取組の実施によって女性活躍を推進

株式会社 ヒロケイ
育休復帰支援や、在宅勤務制度の本格実施など、仕事と出産・子育ての両立実現に向けたきめ細かい取組を実践

医療・福祉分野

社会福祉法人
合掌苑
介護現場において女性の活躍が法人の原動力と考え、託児室設置、夜勤専従化、法定を上回る看護休暇等、女性が継続的に働ける職場環境を整備

地域分野

特定非営利活動法人
マドレボニータ
産前・産後のケアの普及・実施や、全国各地で開催の「母となって働く」を語るワークショップを通じて、産後を軸にした女性のサポートを展開

個人部門

石坂 昌子 氏
石坂ファームハウス
女性農業者として、女性の視点を生かした農業経営を実現するとともに、都内の女性農業者が活躍するための先駆者として大きな影響

取組内容の詳細はこちらをご覧ください

大賞

産業分野

理研計器 株式会社

社長のリーダーシップの下、従業員の声に耳を傾け、
柔軟な対応で働きやすい環境を提供

活躍する女性社員

医療分野

医療法人社団 KNI

就業継続支援とキャリアアップ支援の両輪で、
いきいきと働ける職場づくりを推進

お化けに扮して職場訪問する院内保育所の子供達（ハロウィン企画）

教育分野

国立大学法人 東京学芸大学

男女共同参画推進本部を設置の上、勤務環境の改善や
支援制度の充実に取り組み、女性研究者の裾野を拡大

子育て交流会

地域分野

社会福祉法人 新生寿会

現場の施設長が面接を行い、個々の職員から課題を聴取、
個別の対応で就業継続を促進

子連れ出勤

東京都の取組紹介

女性の活躍推進

東京都では、すべての女性が多様な生き方を選択でき、広く社会で活躍できるよう、女性の活躍推進に向けた様々な事業を展開しています。

◆STEM分野魅力発信事業「女子中高生向けオフィスツアー」

STEM（科学・技術・工学・数学）分野における女性活躍を推進するため、企業のSTEM分野と連携した「女子中高生向けオフィスツアー」を実施し、女子中高生の進路選択を応援しています。

◆性別による「無意識の思い込み」に関する取組

進路や職業選択への性別による「無意識の思い込み」の影響を把握するため、性別による「無意識の思い込み」に関する実態調査を実施しました。この結果を踏まえて、動画やグッズを用いた普及啓発を行うなど、様々な取組を行っています。

◆女性の悩み相談サイト「TOKYOメンターカフェ」

ちょっとした悩み事、モヤモヤすることなどをインターネットで気軽に相談ができる女性のための悩み相談サイトです。仕事、子育て、介護などを経験してきた都民メンターがあなたの悩みをお聞きします。

◆女性活躍の輪 ～Women in Action～（WA）

人口減少社会の中で、豊かで多様性ある社会をつくるには、人口の半分を占める女性の力を最大限引き出していくことが不可欠です。東京のみならず日本全体に女性活躍の輪を拡げていくため、これまで東京都が推進してきた様々な取組を「女性活躍の輪～Women in Action～」（WA）として位置づけ、気運醸成を進めていきます。

女性活躍の輪
Women in Action

男性の家事・育児応援

東京都では、男性の主体的な家事・育児を応援するため、様々な事業により、社会全体のマインドチェンジに取り組んでいます。また、今後の施策の参考とするため、男性の家事・育児実態調査を隔年で実施しています。

◆Webサイト「TEAM家事・育児」

男性の家事・育児の更なる推進に向けて、子育て中の夫婦やプレパパ・プレママ、企業経営者や管理職、若者からシニアに至るまで、家事・育児を「TEAM」として考え変えていくための、様々な情報やアドバイスを発信しています。

TEAM
家事・育児
みんなで考え変えていく！

◆男性の家事・育児実態調査

都内在住の男女5,000名を対象に男性の家事・育児実態調査を実施しました。有識者の協力のもと、今回の調査結果から浮かび上がった家事・育児における男女の意識差やホンネ、育業等の実態を紐解き、今日から使える一言アドバイスとともにレポートにまとめています。

お問合せ先
東京都生活文化局
都民生活部男女平等参画課
〒163-8001　東京都新宿区西新宿2丁目8番1号
電話　03-5388-3189　　E-mail　S1161203@section.metro.tokyo.jp

女性活躍の輪
Women in Action

東京で輝く、
自分らしく。

令和7年6月発行　登録番号（7）7
編集・発行　東京都生活文化局都民生活部男女平等参画課
〒163-8001　東京都新宿区西新宿2丁目8番1号
電話　03（5388）3189
印刷　株式会社モモデザイン

リサイクル適性Ⓐ
この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。